

# Polaris

[hokushin.jcho.go.jp](http://hokushin.jcho.go.jp)

## INDEX

- 2 院長から  
院長挨拶
- 3 医療の現場から①  
訪問診療を始めました
- 4 医療の現場から②  
研修医日誌
- 5 こんにちは 医療連携・相談室です  
医療法人尚仁会 真栄病院
- 6 レスパイト入院のご案内  
小児腎臓専門外来を開設しました  
国道12号線花いっぱいプロジェクト
- 7 新任医師のご紹介  
退任医師のお知らせ  
インフォメーション
  - いきいき健康教室開催のお知らせ
  - がんサロンイベントのお知らせ
  - 研修会のお知らせ

No.52  
2019.07

ネバネバ成分で、食欲増進！夏バテ知らず！

## オクラ

オクラの独特なネバネバは水溶性食物繊維『ペクチン』。  
胃の粘膜を保護することで、食欲増進の効果が期待できます。  
ペクチンは整腸作用もあり、便秘改善にも良いと言われています。  
また、免疫力アップの働きがある『β-カロテン』が  
レタスのおよそ3倍以上も含まれています。



独立行政法人 地域医療機能推進機構  
**JCHO**札幌北辰病院



# 院長挨拶

院長 高橋 昌宏



2025年問題が現実味を帯びてきた中、高齢者の医療問題は年々厳しさを増しています。そこで当院では今後、高齢者の在宅療養のために地域包括ケアシステムの充実を計り、地域支援病院としての役割を果たしていきたいと考えます。そのためには近隣の医療・福祉・介護施設との密な連携が必要です。院外の多職種とネットワークを作り、地域住民を対象とした「住民フォーラム」を開催し、住民との交流の場を作りたいと思います。「時々入院ほぼ在宅」を目標として在宅医療や介護サービスの現状を理解していくだけ、自己の意思決定や悩み事を語り合うことが出来るような場になればと思います。そしてこのような機会を積極的に作ることがACP(Advanced Care Planning:人生会議)の普及・啓発へと繋がればとも期待しています。

高齢者にとって栄養管理も重要な課題の一つです。当院の栄養管理室は栄養状態の維持・改善を目的に勉強会や院内・院外での幅広い栄養管理・指導を行なっています。各診療科の医師が疾患について解説し、管理栄養士に望むことや疾患に合わせた適切な栄養管理の方法などを指導しています。日常臨床ではなかなか聞けないことを医師に質疑応答する良い機会になっています。今年度は「栄養管理の基本を再認識する」をテーマに医師のほか、栄養食品メーカーの学術担当者も講師を務め、「栄養評価」、「がんとサルコペニア」、「摂食と嚥下」など多彩な講座を予定しています。9月は防災をテーマに災害に備えた薬物療法や運動療法なども企画しています。当院は北海道がん拠点指定病院に指定されており、多くのがんの患者さんを診察していますが、特に低栄養状態になり易い高齢者の消化器がんの

患者さんに対し、体組成と握力測定を取り入れた栄養管理指導を導入しました。入院時、術後2週間・1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月に体重・体脂肪率・筋肉量・基礎代謝量・内臓脂肪レベルを測定し、手術による体力低下や手術後の栄養摂取の重要性を理解するのに役立てています。また、化学療法の副作用に伴う食欲不振や嘔気の訴えも少なくありません。それぞれの症状に合わせて多種類の食事から、患者自身が自由に選択出来るメニューを考案し、提供しています。術後の体重減少や化学療法の副作用で食欲低下に陥って悩んでいる患者さんがおられましたら、いつでも気軽にご相談ください。

もう一つ、厚別区は産科の施設が減少しており、少ない施設に分娩が集中するため、育児支援が十分に行われていない可能性があります。育児で悩んでも相談できないお母さんも多くおられることが予想されます。当院は分娩を取り扱っていませんが、助産師が2名とNICU経験のある保健師、看護師が数名在籍しており、産後2ヶ月間の母子への支援(産後ケアのデイサービス、ショートステイ)は可能と考えています。小児科医と産婦人科医も勤務していますので、病的な対応も可能です。厚別区の産科の現状を鑑み、なるべく近いうちに産後ケアサービスを提供できるように体制を整えたいと考えています。一刻も早く育児で悩んでいるお母さんに支援の手をさしのべたいと思います。

最後に、整形外科の常勤医が不在で皆様には大変ご不便をおかけしていますが、他の部署で地域住民の皆さんを支援すべく、これからも職員が一丸となって努力していきたいと考えております。

医療の  
現場から

1

## 訪問診療を始めました

総合診療科 若林 崇雄



皆さん、こんにちは。総合診療科の若林です。

皆さんは総合診療科にはどのようなイメージを持たれているでしょうか?NHKで一時期「ドクターG」なる番組がありました。華麗な診断や治療が印象に残りました。実際には、毎日、肺炎など一般的な病気について外来・入院診療を行っています。個人的には医療と患者さんを結ぶ懸け橋になりたいと考えており、例えばどこに受診したらよいかわからない、誰に相談したらよいかわからないといった症状について的確な地図を示せる診療科を目指しています。それは症状だけではなく、要介護や特定疾患といった社会的資源をどう活用するか?といった相談まで患者さんの背景(独り身だ、とか独り親家庭だ、など)を考えてアドバイスできればと思っています。このため診療の幅はとても広く、100歳を超える高齢者から思春期の方まで受診されています。必ず解決します!とは言い切れないのですが、まず困った患者さんの相談に乗るという姿勢を保ちたいと思っています。

そのような考えのもと、平成30年4月より訪問診療を開始しています。訪問診療は病気やケガ、高齢により通院が困難な方に当院より医師が定期的に伺い、診療を行う制度のことです。高齢化が進む社会でも施設ではなく在宅で過ごしたいと希望される方や、

先天的な病気や癌などを得ても住み慣れた家で過ごしたいと希望される方は多くいらっしゃいます。そのような方に医療的なサポートをできればと考えています。今はこのように考える先生も多く、多くの診療所が在宅訪問診療を始めています。当院は病院ですので、何かあったとき、すなわち病状の悪化や肺炎など感染症にかかったとき、すぐに入院で対応でき安心していただけるのではないかと思います。ちなみに、訪問診療を利用される際は、いま通院されているすべての診療科にお声がけし、内服薬を当科で一本化します。このため訪問診療を利用しながら、例えば脳神経外科にも通院しなければならないといった手間はなくなります(もちろんご希望があれば他の診療科に通院し続けることも可能です)。

もし、訪問診療を利用したいというご希望がございましたらお気軽に当院の患者総合サポートセンターまでご連絡ください。まずは厚別周辺からと考えていますが、場合によりその他の地域にも伺います。総合診療科よりご案内でした。



### 【担当窓口】

JCHO札幌北辰病院

患者総合サポートセンター(医療連携・相談室)

連絡先: 011-893-5884

受付時間: 8:30~17:15



医療の  
現場から

2

## 研修医日誌

初期研修医 大西 錦之介



JCHO札幌北辰病院臨床研修医1年目大西錦之介です。早いもので、研修が始まってすでに3ヶ月が経ちました。4月1日の辞令交付式から始まり、約一週間の新人研修、4、5月の糖尿病内科での研修、そして6月からの循環器内科での研修と、日々が目まぐるしく過ぎ去っており、気持ちが時の流れに追いつけていない面もありますが、そのくらいとても濃密な研修医生活を送らせてもらっています。私が臨床研修医1年目として約3ヶ月間働いてきた中で特に強く感じたことを紹介させていただければと思います。この記事を読んで、読者の皆さんが医療の現場を知る一助となれば幸いです。

医者として、医療者として、働いていく上で一番重要なことはなにか?これは答えのない問題だと思いますし、どの立場にいる人が答えるのか、どういう環境で働いてきたか、など多元的な要素によって多種多様な答えが出てきて当然だと思います。あくまで

も一意見としてですが、私が研修医という立場で約3ヶ月働いていた中で最も重要だと感じたのは「医療というのは人と人の関わりを土台として成り立っている」ということです。カルテの中から集めた情報だけではその患者さんの背景や家庭環境、言葉の裏にある本心などをすべてを把握するのは困難です。また、医師一人だけで医療行為を行うのは到底不可能であり、コメディカルと言われる看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、作業療法士、放射線技師、栄養士、MSW、医療事務などなど本当にたくさんの職種の人々が関わることによって、やっと医療行為が成り立っています。毎朝、入院患者さんへ会いに行き直接話を聞きに行き患者さんとの関わりを大切にするのはもちろんのこと、他職種とも患者さんの情報を共有していくことも最適な医療への必要条件だと感じております。学生の頃はそこまでこれらのことを見識することはなかったのですが、実際に医療現場の一員として働き始めてからというもの、その分野のプロフェッショナルであるコメディカルの方々の見識の深さに何度も助けられ、勉強させていただいております。わからないことがあれば、指導医だけでなく、病棟の看護師さんや薬剤師さんなどにも気軽に話しかけやすい雰囲気であるため、本当に恵まれた環境で研修できているなど実感しております。

この短い期間の中で、今述べたこと以外にも数え切れないほど多くのことを学んだり、経験しながら働かせていただいているこの環境に感謝しつつ、今後数十年に渡って続けていく医師という職業の根幹・基盤になるような研修をしていきたいと思っております。



## 医療法人尚仁会 真栄病院

# こんにちは 医療連携・相談室です

～医療連携部門 訪問編～

第7回目は真栄病院の地域医療連携室の皆様にお話しを伺いました。

昭和57年10月1日に開院され、理事長・院長は小笠原俊夫先生です。

診療科目は内科、神経内科、リハビリテーション科で、大谷地駅、新札幌駅、福住駅から真栄病院への送迎バスが運行しています。

### 貴院の特徴について教えてください

当院は、札幌市清田区真栄に位置するとても豊かな自然に囲まれた病院です。「慢性の病気や障がいをもったとしても、社会や家庭の中で役割を担い、自立した生活を築くことが大切である」といった理念のもと『リハビリテーションで地域に貢献する』をスローガンとして、日々の診療を行っています。

病棟の種別としては、一般病棟・地域包括ケア病床(55床)回復期リハビリテーション病棟(55床)、医療療養病棟(56床)の3つの病棟があります。一般病棟及び地域包括ケア病床では、内科・整形外科などの一般的な病気・ケガに対し、主に短期間での入院治療を行います。回復期リハビリテーション病棟では、急性期治療後(脳血管疾患や整形疾患など)の病状管理やリハビリテーションを実施し、心身機能の回復や社会復帰をサポートします。医療療養病棟では、進行性の難病や全身状態の悪化など、比較的長期の医療管理を必要とする方々の治療やリハビリを行い、生活能力の低下を少しでも遅らせることを目標としています。

その他、当院では訪問診療も行っており、同一法人内にある「居宅介護支援事業所」「訪問看護ステーション」「訪問リハビリステーション」とも連携をとりながら、患者様が住み慣れた地域で生活が継続できるように日々活動しています。

### 地域医療連携部署について教えてください

当院で地域医療連携を担う部署は「地域医療連携室(医療福祉相談窓口)」となっております。現在は医療ソーシャルワーカー6名(社会福祉士取得者)で構成され、入退院支援や受診調整など、当院と各医療機関を繋ぐ連携業務を担っています。同時に、入院中の患者様や御家族の心理・社会的支援を担う部署として確立しており、日々その課題解決のお手伝いをさせて頂いています。

医療における機能分化が定着するなか、これらを繋ぐ部署の役割はより一層重要になってくることが予想されます。今後は、部署の更なる強化と共に、地域全体の医療福祉の向上にも貢献できるように、病院の垣根を越えた活動も行っていきたいと考えています。



▲病院 外観



▲地域医療連携室の皆様



#### 医療法人尚仁会 真栄病院

〒004-0839 札幌市清田区真栄331番地

TEL:011-883-1122

TEL:011-883-8060(地域医療連携室直通)

HP:<http://www.syoujinkai.or.jp>



## レスパイト入院のご案内

当院では、平成29年4月より地域包括ケア病棟を開設し、レスパイト入院をお受けしております。

レスパイト入院とは、在宅療養されている患者様が何らかの理由で一時的に在宅での療養が困難になった場合や介護しているご家族の負担軽減といった在宅療養支援のための入院をいいます。当院では褥瘡処置や麻薬管理などショートステイでは対応困難な医療ニーズの

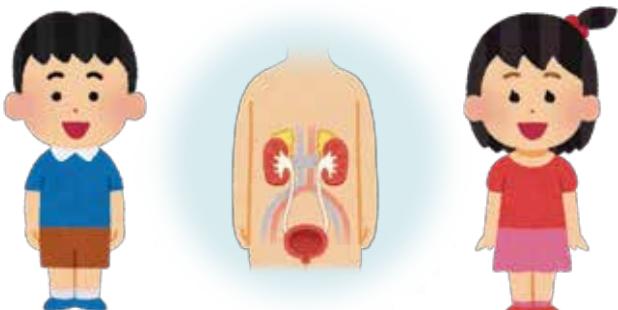
ある方も対応が可能です。

ご利用方法や申込みにつきましては、患者サポートセンター(011-893-5884)までご連絡ください。



## 小児腎臓専門外来を開設しました

2019年5月より毎月第2水曜日の午後に小児腎臓専門外来を開設いたしました。



小児腎臓専門外来では、先天性腎尿路奇形の診断や各種慢性糸球体腎炎の診断と治療を行います。

完全予約制となっておりますので、受診にあたっては事前のご予約をお願いいたします。

### 【担当医師】

札幌医科大学小児科学講座 川崎幸彦教授

【予約受付時間】平日午前8時30分～午後5時

【予約専用番号】011-893-3048

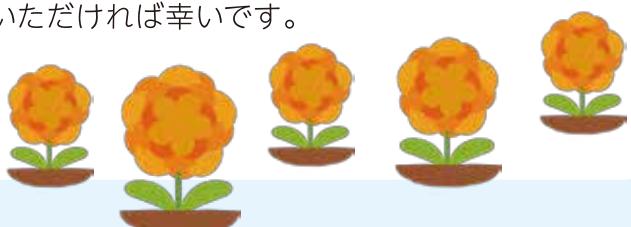
## 国道12号線花いっぱいプロジェクト

当院では今年もあつべつ区民協議会主催による花いっぱいプロジェクトに参加しています。

この催しは札幌の東の玄関口である厚別の国道12号沿いにきれいな花を植え、訪れる人を出迎えようという趣旨で毎年行われており、当院では病院横の国道12号線歩道沿いにある植樹帯に200株のマリーゴールドを植えました。

今年は晴天が続いていたこともあり、土がか

なり乾燥して耕すもの一苦労なほど固い状態でした。こんな土に花を植えて大丈夫だろうかと不安になりましたが、植えてから数週間経過した現在も元気に咲いてくれています。皆さんも国道12号線をお通りの際は花の様子を伺っていただければ幸いです。





# 新任医師のご紹介

外科 医師

いしづか  
石塚 千紘

退任医師のお知らせ

外科 医師 浜田 卓巳

## Information

インフォメーション

### ●いきいき健康教室開催のお知らせ(参加無料)

7月18日木  
14:00～15:00

「元気に夏を乗り切ろう!!  
～夏バテ予防の食事について～」



開催場所:当院2階 講義室  
講師:当院 管理栄養士

8月 7日水  
14:00～15:00



「薬剤師と一緒にかがくであそぼう!」

開催場所:当院2階 講義室  
講師:当院 薬剤師  
定員:20名(対象:小学1～6年生)  
※定員に達し次第、申込終了とさせていただきます。  
応募方法:011-893-3000(受付時間 平日8:30～17:15)

### ●がんサロン

### イベントのお知らせ(参加無料)

9月25日水  
14:00～15:00

がん治療中の食事について

開催場所:当院2階 講義室  
出演者:当院 管理栄養士

### ●研修会のお知らせ(医療従事者対象)

9月11日水  
19:00～20:30

新さっぽろ栄養士連絡会

開催場所:当院2階 講義室  
「がんの栄養管理」(講師:アイドウ(株))



# 外来担当医師一覧

2019年7月1日現在

受付時間	面会時間	予約及び予約変更受付
午前/ 8:00~11:00 午後/12:30~15:00 ●土曜、日曜、祝日は休診	午後/13:00~19:30	午後/14:00~17:00 ●土・日・祝日を除く ●小児科のみは時間内で予約も変更も可能

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合診療科	午前	田口/石立	若林	渡邊	若林	渡邊	※午後(初診)の受付時間は14:30まで
		須藤	スフィ(9:30~)	須藤	交代制	須藤	
	午後(初診)	スフィ	石立	田口	石立	スフィ	
	午後(予約制)	—	若林	渡邊	若林	渡邊	
内科	糖尿病	増田	野田	野田	増田	増田	※完全予約制
		—	派遣医	(増田)	派遣医	—	
	腎臓病	—	—	—	野田	—	※完全予約制
		—	佐藤	石田	—	山田(幹)	
	呼吸器	—	佐藤	石田	—	山田(幹)	※完全予約制
		相坂	堀部	今井	相坂	今井	
	消化器	—	—	—	—	—	※完全予約制
		高木	寺下	西村/吉田	高木	寺下	
	循環器	西村	野澤	吉田	小笠原	野澤	※一般外来は完全予約制 ※専門新患外来は予約不要 ※ペースメーカー外来は第2・4週
		午前	北	藤田	—	北	
		内藤	—	内藤	—	中原	
		中野	北	中原	内藤	藤田	
リウマチ科	午後	—	中野	中原	—	中野	※一般外来は完全予約制 ※専門新患外来は予約不要 ※ペースメーカー外来は第2・4週
		—	—	藤田	—	—	
	午前	派遣医	—	—	派遣医	—	
	午前	—	—	安達	—	—	
血 液	午後	—	安達	—	安達	—	※完全予約制
	午前	伊藤	木澤	稻澤	伊藤	東館	
	(一般)	木澤	—	伊藤	稻澤	木澤	
	午後	第1・3週:東館 (川崎病外来) 木澤 (慢性リウマチ外来)	稻澤 (血液/ 乳児検診(1歳まで))	伊藤 (神経外来)	東館 (心臓外来)	伊藤 (神経外来)	
小児科	午後 (専門外来)	学童ワクチン (予約制)	予約注射・ 予防接種 (予約制)	第2週:派遣医 (腎臓外来)		木澤 (慢性リウマチ外来)	※専門外来は完全予約制
		第3週:沼田 (精神衛生相談)					
外科	午前	小林	高橋	下國	—	下國	※完全予約制
			中川	—	—	—	
	午後	小林	高橋	—	—	下國	
ヘルニア外来	午前	小林	中川	—	—	—	※完全予約制
	午後	小林	佐々木	—	—	—	
乳腺外科	午前	西川	—	西川	西川	—	※完全予約制
	午後	—	—	西川	西川	—	
整形外科	午前	派遣医	派遣医	第1・3週 派遣医	派遣医	第1・3・5週 派遣医	※完全予約制 ※水曜日は上肢専門
	午後	—	—	—	—	—	
皮膚科	午前	松村	松村	松村	松村	松村	※完全予約制
		安藤	安藤	安藤	安藤	安藤	
	午後	松村	松村	安藤 (手術)	安藤	安藤	
泌尿器科	午前	松田	松田	松田	松田	松田	※完全予約制
		三橋	三橋	三橋	三橋	三橋	
	午後	村橋	村橋	村橋	村橋	村橋	
		松田	(手術)	松田	(手術)	松田	
婦人科	午前	山中(予約制)	山中	山中	山中(予約制)	—	午前診察:9:30~ 午後診察13:30~
	午後	—	山中	山中	—	—	
眼 科	午前	廣瀬	廣瀬	白枝	廣瀬	廣瀬	※3才児健診は予約制 ※午前の受付時間は10:00まで
		白枝	白枝	翁	白枝	白枝	
	午後(予約制)	(手術/予約外来)	(手術/予約検査)	(手術/予約外来)	(手術)	(手術/予約外来)	
耳鼻咽喉科	午前	(予約制)	栗原	栗原	栗原	栗原	※専門外来は完全予約制 ※神経内科は第1・3週AM ※腫瘍内科は第1・3週PM
		派遣医	—	(稻村)	稻村	稻村	
	午後	—	栗原	稻村	—	—	
		稻村	—	(栗原)	—	—	
専門外来	午前	—	—	派遣医	—	—	※専門外来は完全予約制 ※神経内科は第1・3週AM ※腫瘍内科は第1・3週PM
	午後	—	—	派遣医	—	—	
	午前	—	—	予約制	—	—	
	午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
	午前	—	原口	—	—	—	

※都合により代診・休診となる場合がございますので、事前にご確認願います。 ※各科の午後の(手術)(検査)(乳児健診・予防接種)は、診療時間の調整が必要ですので電話で確認してください。

